

平成 22 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき 22 市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成 22 年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成 23 年 3 月

青森県農林水産部長 有馬 喜代史

目 次

調査の要領	1
-------	---

結果の概要	2
-------	---

対前年比較表

第 1 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対五カ年平均比）	12
第 3 表	月別漁獲数量比較表	14
第 4 表	月別漁獲金額比較表	14
第 5 表	分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表	分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表	主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表	主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表	漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表	漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表	市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表	市町村別漁獲金額比較表	21

県計表

第 1 表	年 総 括 表	22
第 2 表	月 別 表	36

市町村計表

第 1 表	魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表	漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表	月別漁獲数量及び漁獲金額	73

調 査 の 要 領

1. 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

2. 調査時期

毎 月

3. 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4. 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5. 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は 100%にならない場合があります。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

平成22年の青森県の漁獲数量は**246,680トン**で、漁獲金額は518億2,528万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で**42,337トン**（14.6%）減少し、漁獲金額で6億3,790万円（1.2%）増加した（表1）。

(2) 主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい（新貝・成貝）」、「するめいか（近海・生）」、及び「あかいか（近海）」等の漁獲量が大幅に減少したことによるものである。また、漁獲金額が増加した主な要因は、「なまこ」、「さば」、「するめいか（近海・生）」等の漁獲金額が増加したことによるものである。

(3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較して、漁獲が好調であった魚種は「ほたてがい（稚貝）」（漁獲量対平年比**471.3%**）、「まいわし」（453.4%）、「さくらます」（163.1%）、「ほたてがい（半成貝）」（135.6%）、「からふとます」（128.2%）等であった。一方、漁獲が低調であった魚種は「さんま」（5.2%）、「こうなご」（**13.8%**）、「くるまえび」（16.7%）、「あかいか（近海）」（38.3%）、「かつお」（48.3%）等であった（表2）。

(4) 過去10年間の平均との比較

平成22年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去10年間の平均と比較すると数量で19.5%、金額で9.1%、それぞれ下回っている。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁 獲 数 量		漁 獲 金 額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成12年	381,396	6.6	67,467	△5.5
平成13年	365,702	△4.1	58,734	△12.9
平成14年	327,486	△10.5	58,461	△0.5
平成15年	281,057	△14.2	51,812	△11.4
平成16年	296,063	5.3	60,606	17.0
平成17年	289,662	△2.2	56,914	△6.1
平成18年	278,430	△3.9	54,675	△3.9
平成19年	295,695	6.2	57,217	4.6
平成20年	261,354	△11.6	53,171	△7.1
平成21年	289,027	10.6	51,187	△3.7
平成22年	246,690	△14.6	51,825	1.2
平成12年～平成21年 までの平均 (A)	306,587		57,024	
平成22年／(A)%	80.5 %		90.9 %	

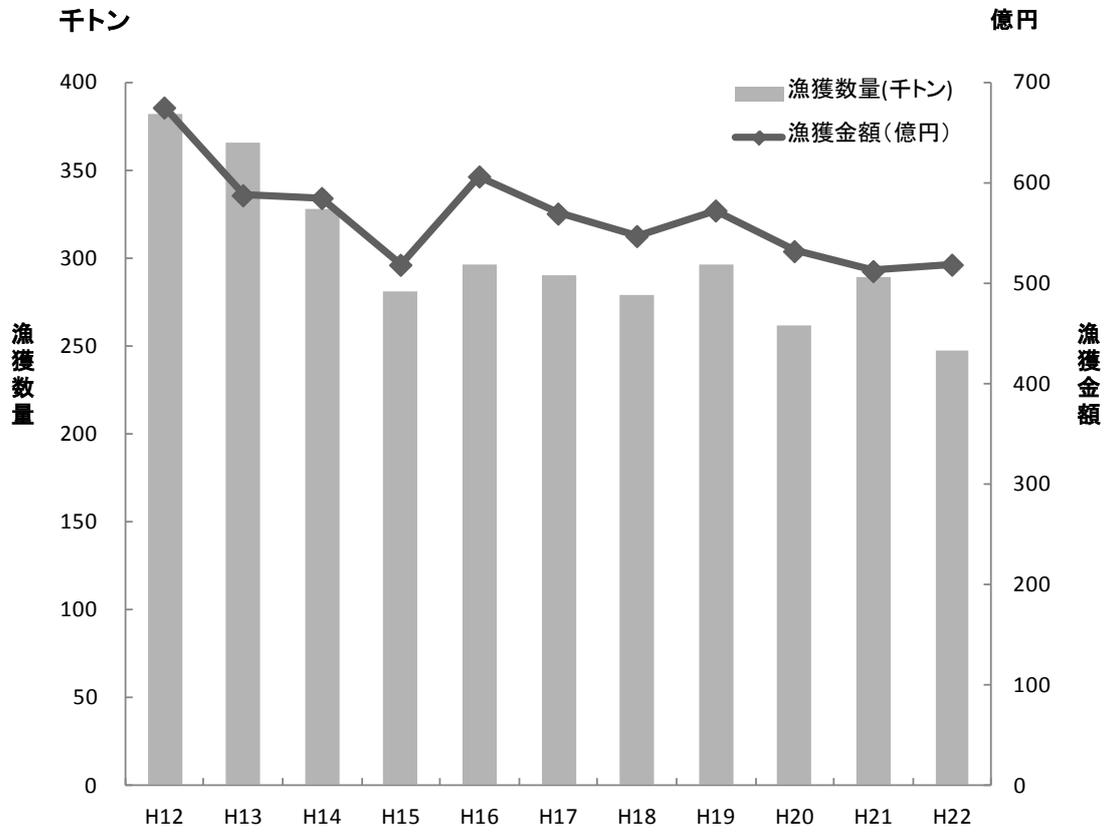


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

平成 22 年の漁獲数量を月別にみると、10 月が 33,190 トンで最も多く全体の 13.5% を占め、次いで6月の 29,434 トン (11.9%)、7月の 29,182 トン (11.8%) となっている (図 2、第 3 表)。

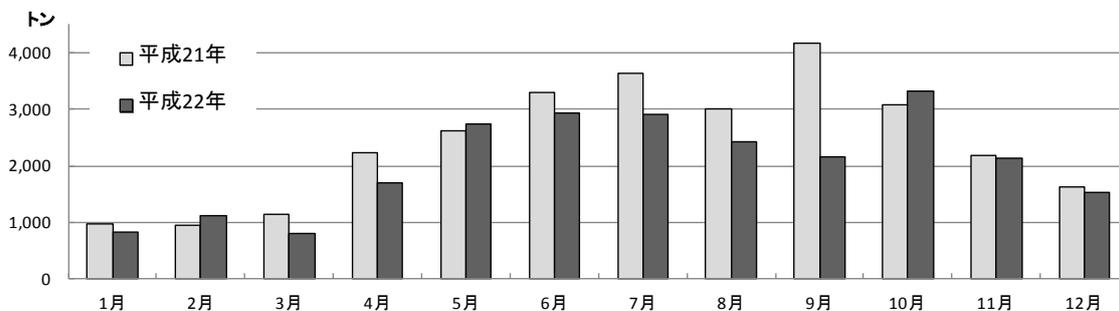


図 2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

平成 22 年の漁獲金額を月別にみると、7 月が 60 億 2,834 万円で最も多く全体の 11.6% を占め、次いで11月の 59 億 1,307 万円 (11.4%)、12月の 57 億 3,593 万円 (11.1%) となっている (図 3、第 4 表)。

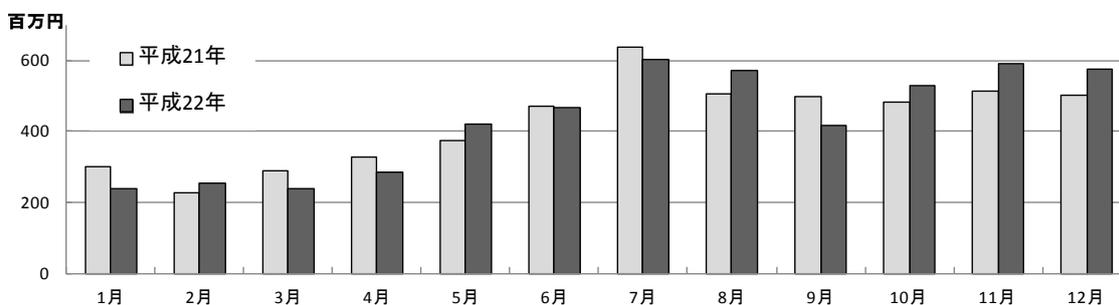


図 3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が 91,902 トンで最も多く全体の 37.2%を占め、次いでいか類等の「その他の水産動物」80,644 トン (32.7%)、「魚類」72,089 トン (29.2%)、「藻類」2,056 トン (0.8%)の順となっている (図 4、第 5 表)。

これを前年と比較すると、「貝類」は 19,088 トン (17.2%) 減少、「その他の水産動物」は 23,539 トン (22.6%) 減少、「魚類」は 1,033 トン (1.4%) 増加、「藻類」は 692 トン (25.2%) 減少した。

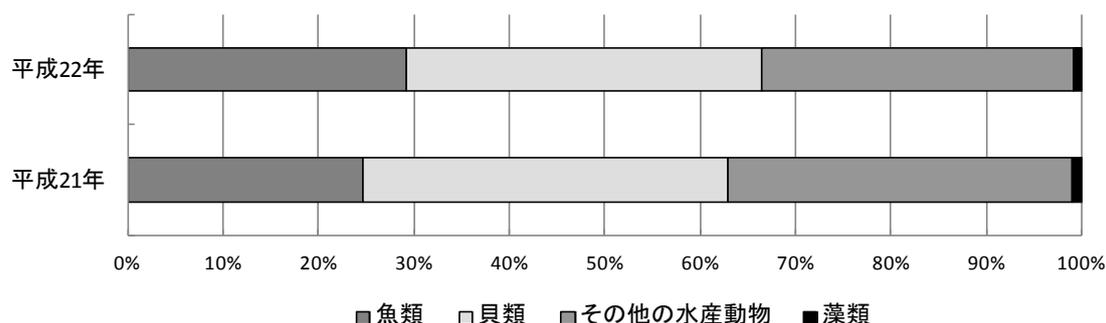


図 4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が 233 億 619 万円で最も多く全体の 45.0%を占め、次いで「魚類」160 億 5,785 万円 (31.0%)、「貝類」119 億 4,555 万円 (23.0%)、「藻類」5 億 1,569 万円 (1.0%)の順となっている (図 5、第 6 表)。

これを前年と比較すると、「その他の水産動物」は 7 億 6,602 万円 (3.4%) 増加し、「貝類」は 8 億 3,135 万円 (6.5%) 減少し、「魚類」は 9 億 2,971 万円 (6.1%) 増加し、「藻類」は 2 億 2,648 万円 (30.5%) 減少した。

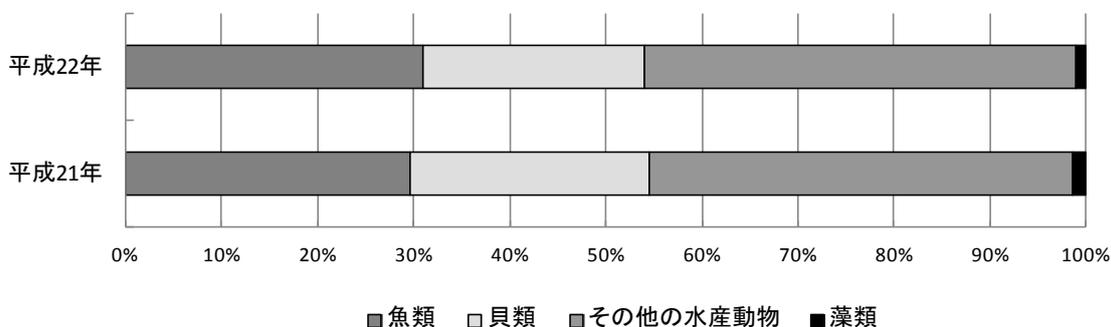


図 5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」90,622トン（構成比36.7%）、「するめいか」56,778トン（23.0%）、「さば」36,618トン（14.9%）、「あかいか」17,971トン（7.3%）、「すけとうたら」4,949トン（2.0%）、「たら」4,623トン（1.9%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「すけとうたら」2,394トン（対前年増減率93.7%）、「さけ」464トン（12.0%）、「ひらめ」342トン（33.2%）、「かれい類」129トン（6.5%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「ほたてがい」19,022トン（対前年増減率 Δ 17.3%）、「するめいか」13,704トン（ Δ 19.4%）、「あかいか」9,608トン（ Δ 34.8%）、「さば」1,654トン（ Δ 4.3%）となっている（図6、第1表、第7表）。

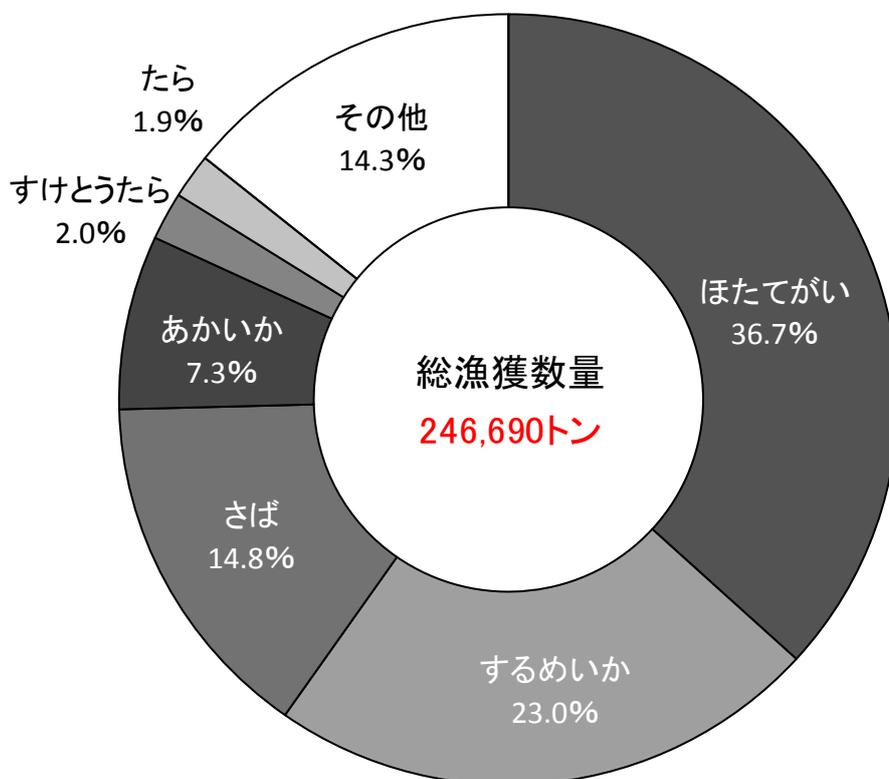


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「するめいか」138億2,586万円（構成比26.7%）、「ほたてがい」113億5,796万円（21.9%）、「あかいか」36億3,035万円（7.0%）、「なまこ」32億2,331万円（6.2%）、「さば」31億8,155万円（6.1%）、「まぐろ」21億2,398万円（4.1%）、などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「なまこ」11億6,946万円（対前年増減率56.9%）、「さば」6億7,984万円（27.2%）、「するめいか」6億4,671万円（4.9%）となっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「あかいか」8億4,223万円（△18.8%）、「ほたてがい」7億4,120万円（△6.1%）、「まぐろ」6億9,899万円（△24.8%）、「こんぶ」2億6,516万円（△49.4%）となっている（図7、第1表、第8表）。

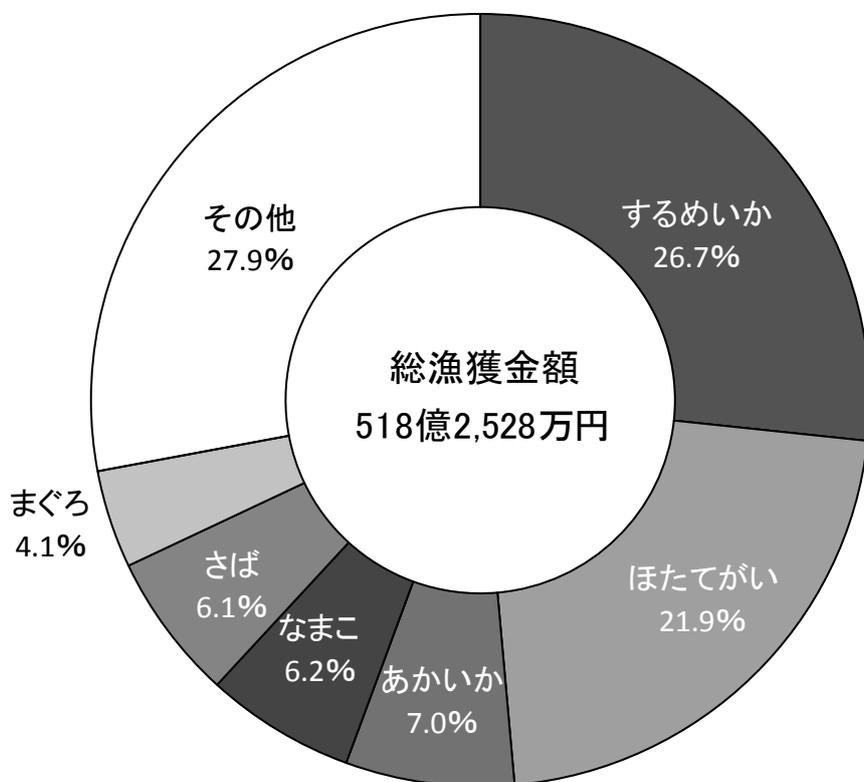


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

漁業種類別漁獲数量の構成比をみると、漁獲数量は「養殖業」が全体の **36.3%** (89,538 トン) で最も多く、次いで「まき網漁業」21.9%、「いか釣漁業」20.0%となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「遠洋底曳網漁業」1,174 トン (141.8%)、「刺網漁業」493 トン (17.0%)、「大型定置網漁業」143 トン (5.8%)、「底建網漁業」65 トン (1.7%) となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「いか釣漁業」20,091 トン (Δ 29.0%)、「養殖業」**19,059 トン** (Δ 17.6%) となっている (第9表)。

(2) 漁業種類別漁獲金額

漁業種類別漁獲金額の構成比をみると、「いか釣漁業」が全体の 24.6% (127億2,536万円) で最も多く、次いで「養殖業」**21.7%**、「まき網漁業」11.2%となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「まき網漁業」17億1,834万円 (42.1%)、「沖合底曳網漁業」7億6,444万円 (18.4%) となっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「いか釣漁業」18億2,374万円 (Δ 12.5%)、「養殖業」**7億7,617万円** (Δ 6.5%)、「延縄漁業」4億1,867円 (Δ 39.5%) となっている (第10表)。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が118,870トンで最も多く全体の48.2%を占め、次いで平内町15.9%、青森市7.7%、外ヶ浜町5.3%、むつ市4.5%の順となっている。

次に、市町村別漁獲数量を前年と比較してみると、漁獲数量が増加した市町村は、おいらせ町113トン（対前年増減率22.9%）、風間浦村42トン（3.3%）、佐井村37トン（5.2%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市17,395トン（△12.8%）、平内町10,731トン（△21.4%）、むつ市2,354トン（△17.5%）ほか16市町村となっている（図8. 第11表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が220億8,515万円で最も多く全体の42.6%を占め、次いで平内町11.8%、むつ市6.6%、東通村5.5%、外ヶ浜町5.2%の順となっている。

次に、市町村別漁獲金額を前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、八戸市19億6,397万円（対前年増減率9.8%）、外ヶ浜町9,490万円（3.7%）、横浜町8,748万円（7.9%）ほか3市町となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、大間町4億6,302万円（△25.6%）、六ヶ所村3億418万円（△19.2%）、中泊町1億7,227万円（△14.2%）ほか13市町村となっている（図9. 第12表）。

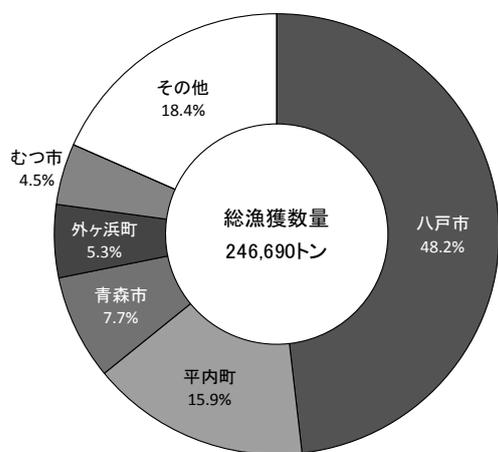


図8 市町村別漁獲数量の構成比

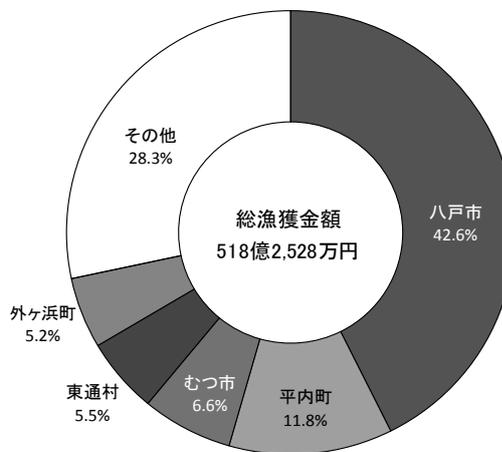


図9 市町村別漁獲金額の構成比